





妖魔との戦いで
「淫水」を
体に塗られて…

カラダを敏感な状態に
されてしまった
川澄カグヤ



このままでは
性的な攻撃をばかりを
仕掛けてくる
加羅石町の妖魔たちとの
戦いにおいて
不利だと判断した彼女は

後輩メルの紹介で
特殊な治療を専門とした
医者のもとに
訪れた





アナタが
川澄カケヤさん？

時には
聞いてましたよ

すつこく美人な上に
退魔士としても天才だって



妖魔との戦いで
ちよつと体に後遺症が
残ったんですつて？

あ…はい…



え…えーと…
その…

妖魔の攻撃を受けてから
体の感覚が敏感に
なりすぎてて…



もう大丈夫ですよ、
私、妖魔に受けた
キズ専門の医者ですからね

で…
どういう症状
なんですか？

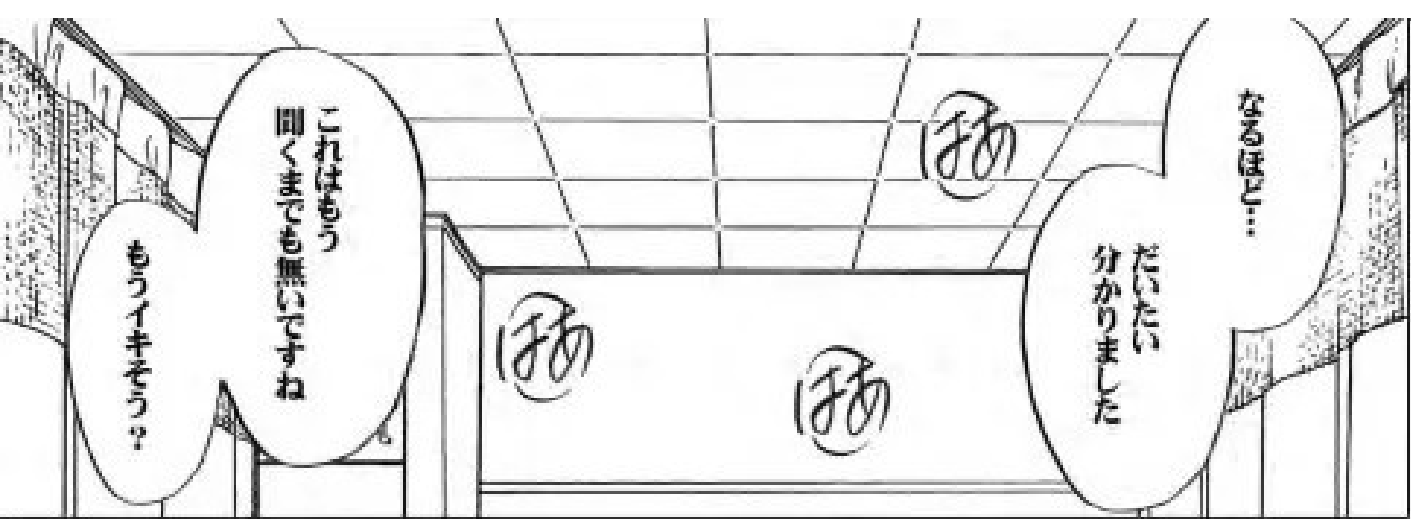




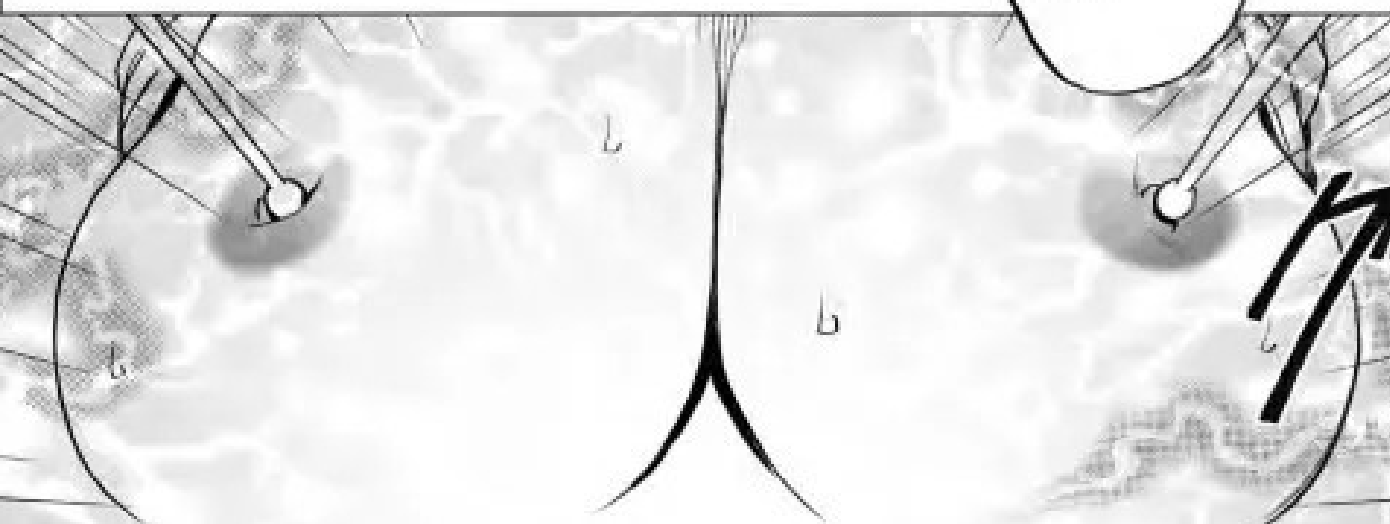














あー……

胸が…
乳首の芯から…
痺れる！



強烈な快感で
淫気を強制的に
発散させますから

今までよりも
ちよつと刺激が
強いかも
しれませんが

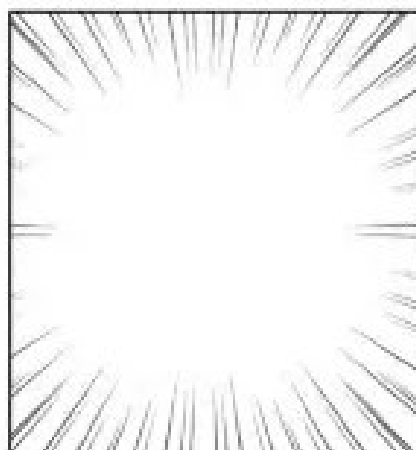
ガマンして
くださいわ



き…強烈な快感？
ダメですよ
先輩

そ…そんなッ…

もう
待ちません
このまま
最後まで
やっちゃいましょう













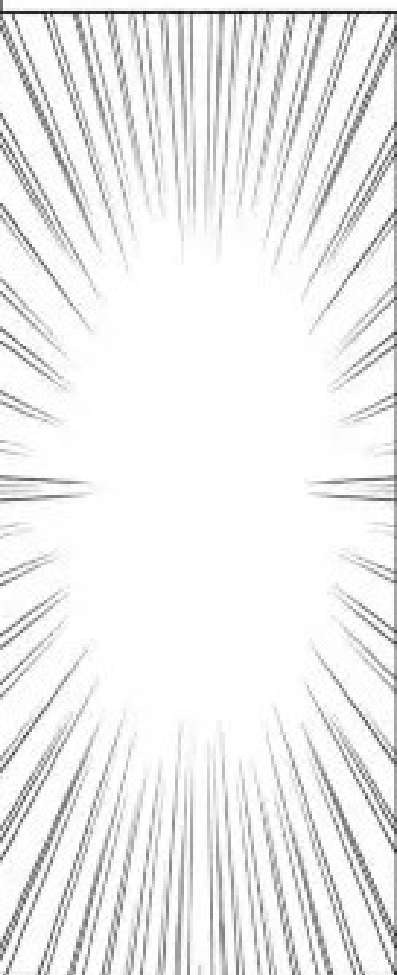
思いつきり
気持ちよくなって

思いつきり
イッて



ほら
恥ずかしがらないで

思いつきり
イキなさい



全部
出して
しましましょうね

あッ!!

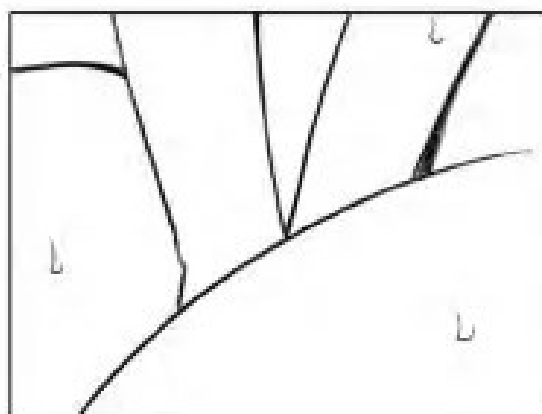
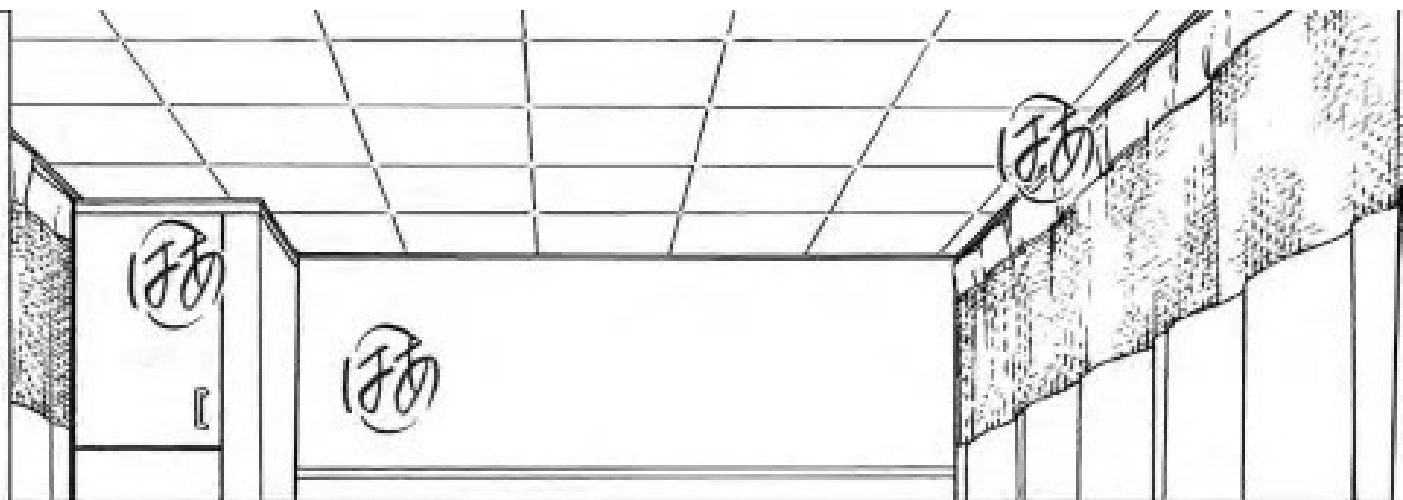


あああ

うわ

うわ

うわ





フフフ…
もう大丈夫そうね

妖魔との戦い
がんばってね



ホントに
直ったんですか？

私
チェックして
あげましょうか？



………

これなら
戦える……！

グ
ッ



ちがつ…
メル！ やっ！

あれ？
感じてませんか？

それは元々
敏感なだけ
なんじゃない？

ち……ちがつ…
そんなことはッ！

かああ



その日
ケーシヤは

怪しい気が
渦巻いている
公園を再度
探索していた

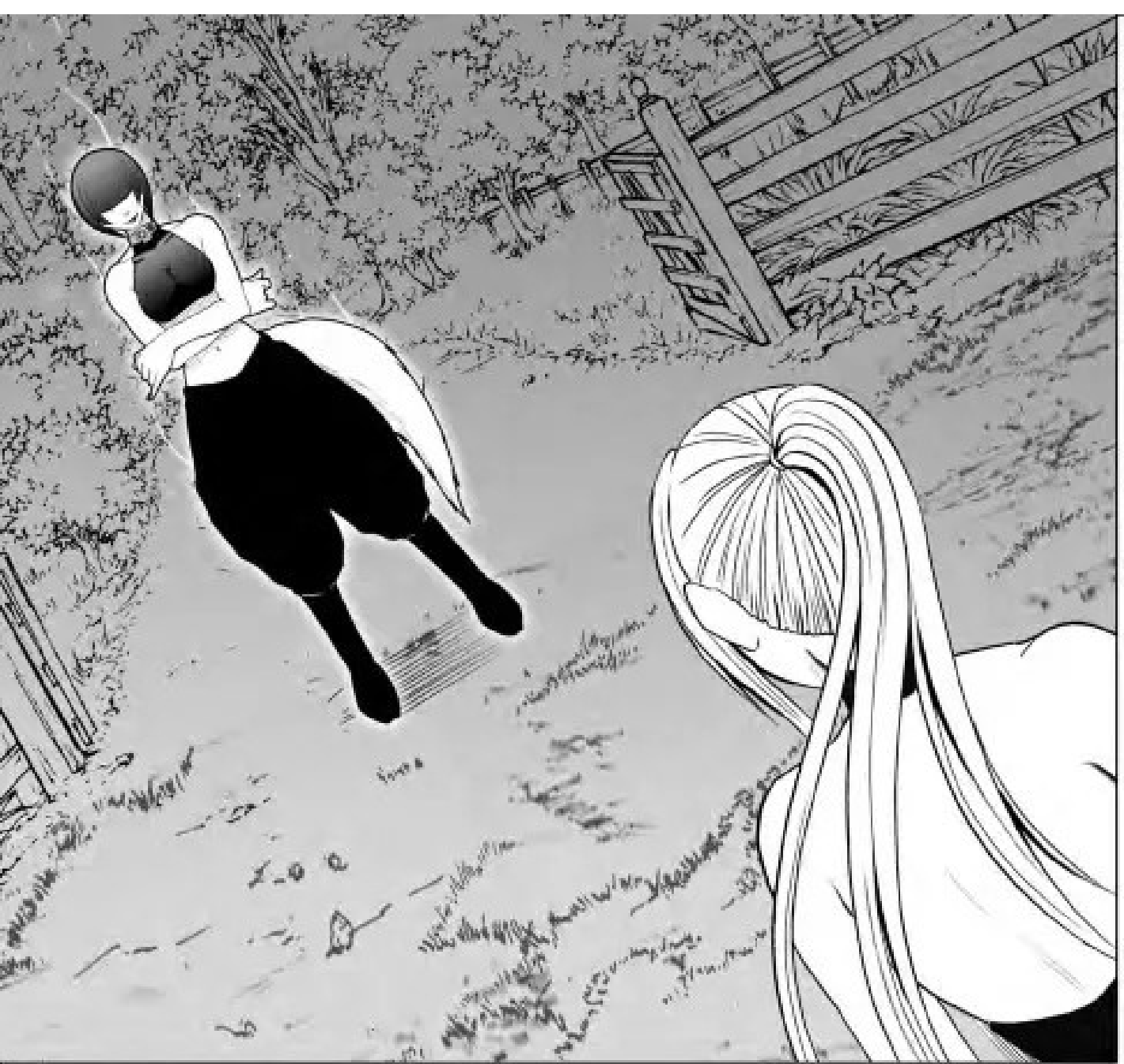


そして

出会って
しまった



この街
最悪の存在に…



退魔士カグヤ 第5話

ケーシャ
完全敗北…
浮浪者の餌食に…



この妖魔！

強い！



間違いない
こいつが

この二帯の
妖魔を
率いているボス！

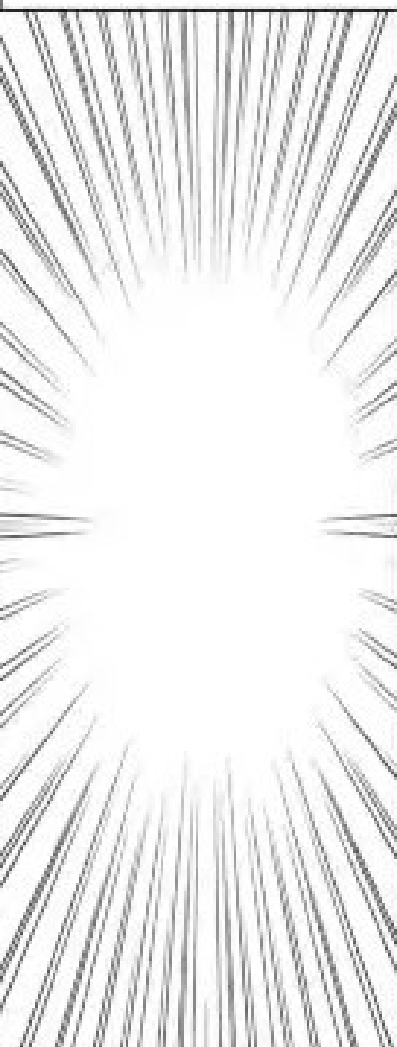


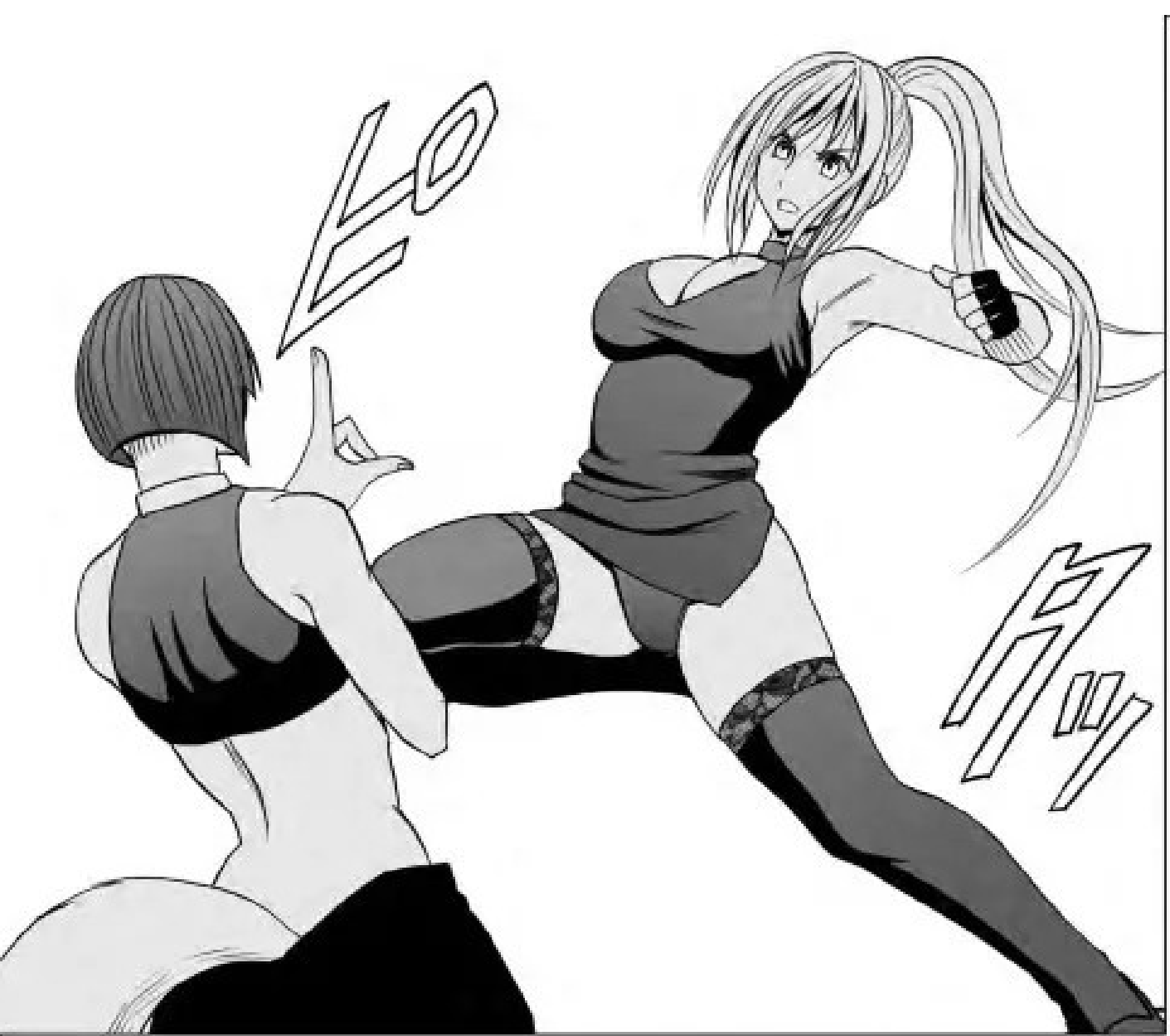
あはは

知っているよ
キミのこと



ねえねえ
誰かもう一人
いるよね











でも...
足は止まるならいいわ

少しの
抵抗はいいわ...

ちゃんと
ついてきてねー



おっ...

!!

拘束を解くように
してあげよう...



この枷...

妖気で作っている
ものもあるらしいは



こちらから
強力な靈気を
ぶつけば
解除されるはず...



.....?







淫魔の卵だよ

触れてるだけで
メチャクチャ気持ちよく
なっちゃうでしょ？



くっ…！
何を入れられたんだ！

何なんだ
この球は…！



これでもう
お姉サンは
抵抗できませーん

さあ
歩いて歩いて



球が
当たっている部分が
ビクビクしてる…！

触れている
だけなのに

絶えず刺激が
伝わってる…！



ああ…ダメだ！

ビクッ

歩くと
余計に刺激が…！



こんな小さな
球ひとつで…！



バカな…！

んッ！

私は特殊部隊で
精神訓練も
ついでにたまにはなのさ…！

ビクッ

ビクッ



何も出来なく
なるなんて…！

はらはら
早く！

それから
1時間

淫猥な球を
膣の中に
入れられた状態で

足腰を
ビクビクと
震わせながら

…!!

ビクッ

ビクッ

ケーシヤは
公園の中を
歩かされ続けた



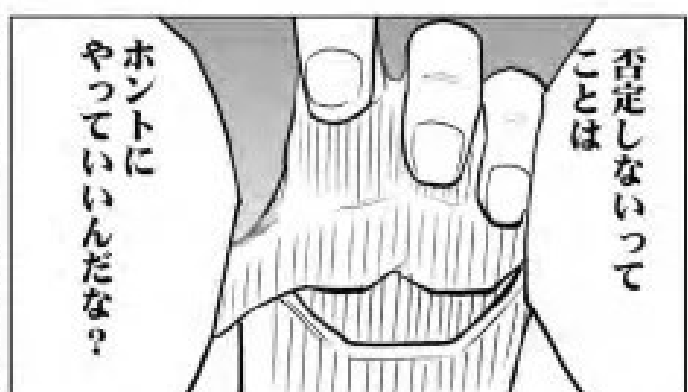
「ああ、この瞬間に……」

「……この瞬間に……
気を集中したときに霊力を
吸い取っている……」

自由を奪われた体で
何度もイキそうに
なりながらも

エリート女対魔士として
これまで訓練してきた
持ち前の精神力で
何とかこらえ続けた









オレは
5年ぶりだ

何せ
もうずっと女と
やってないからな



やつぱり
オレらみたいなのに
犯られるのは
イヤなのか?

何だあッ
イヤがつてるのか?



たまんねえ
カラダしてるなあ

白人のオシナと
やるのなんて
初めてだよ







もう
ガマンできねえな

これだけ
濡れてりや
問題ないだろ？



はーん！





くわえて
くれるってか...



んん？
何だ？

大口開けて...
もしかして



.....！

かはっ！



.....



んんッ！！

グッ



中に入れられた
球が奥に……!!

カッ



男のモロで
押し込まれて

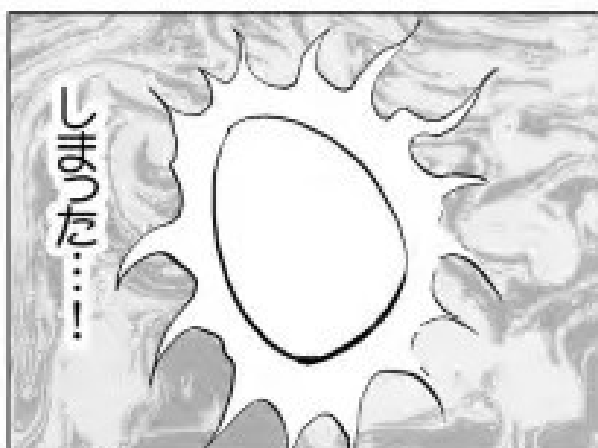


ん!!



奥に当たって……!!





しまった……!



あぁ……!

……!



霊力が腔内の
球の中に吸収された!?





妖魔を狩りに来た
はずなのに



こんな屈辱……!

逆に私が
霊力をすべて
奪われるなんて……





退魔士ケーシヤの
完全敗北

その事実
にカグヤは驚愕した

そんな…
A級退魔士の
ケーシヤが…

何も出来ずに…？

しかし
恐れて何も
しないわけには
いかない

カグヤはすぐさま
ケーシヤが敗北した場所へ
向かった



そして

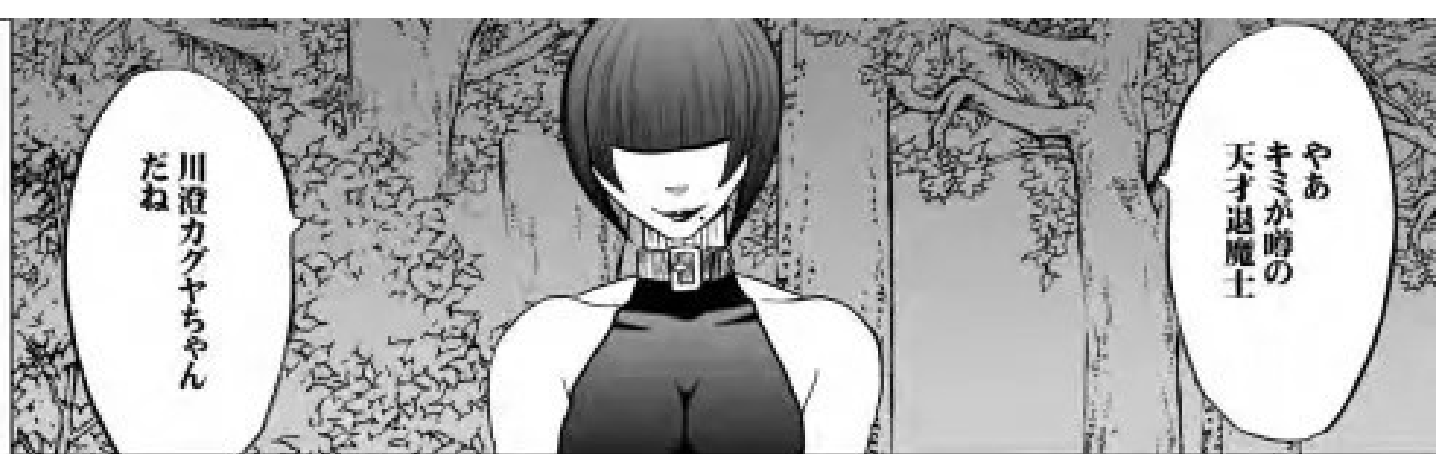
ついに
遭遇した



この加羅石町の妖魔を
取り仕切るボスと

第6話

天才退魔士の
処女が
ザコ妖魔に…



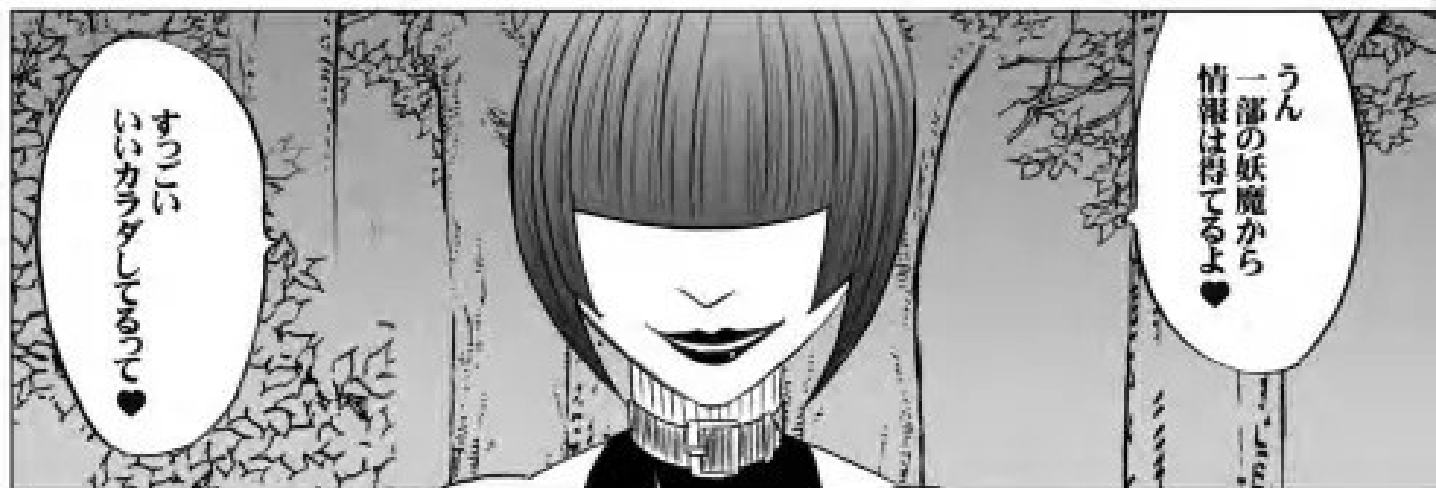
やあ
キミが噂の
天才退魔士

川澄カゲヤちゃん
だね



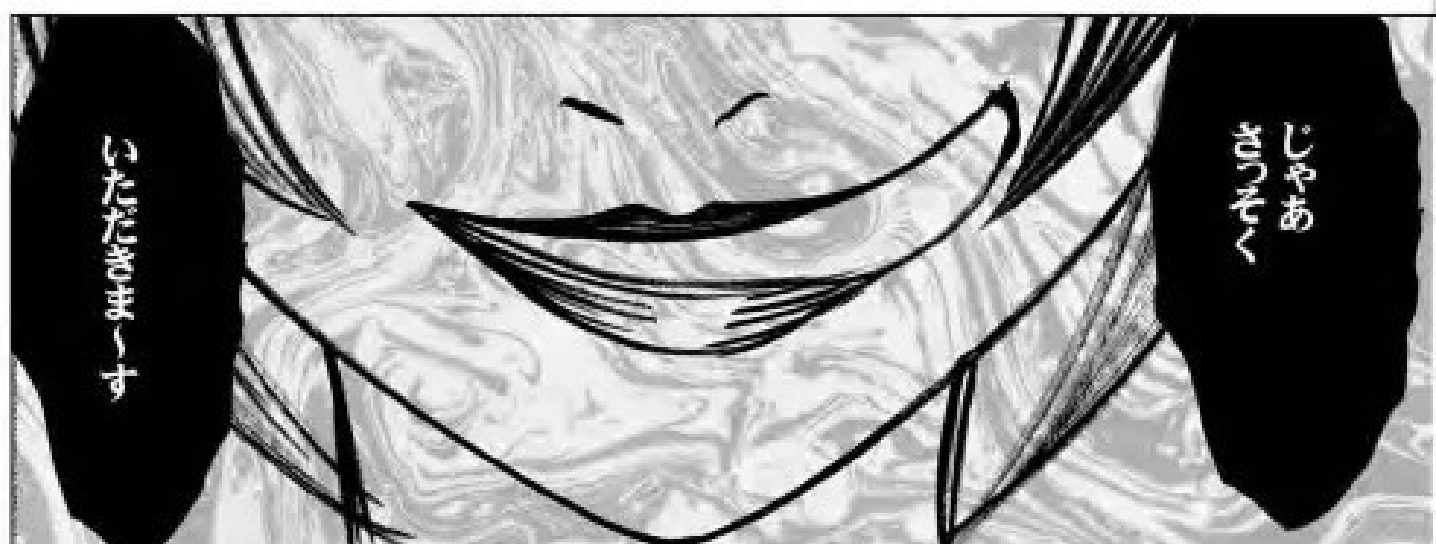
.....

知ってるの
私のこと...



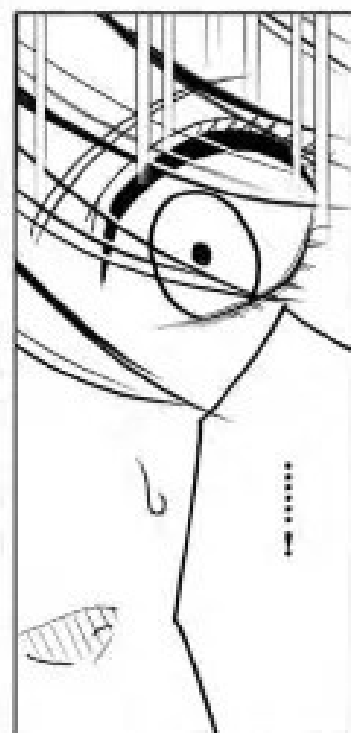
うん
一部の妖魔から
情報は得てるよ♥

すっごく
いいカラダしてるって♥



じゃあ
さようへ

いただきまーす







全部が全部
そうじゃない

まあ
普通妖魔って言うたら
破壊衝動や
食欲で動くやつが
多いけど



妖魔は怨念で
生まれる

動機は
人それぞれ
だよ



退魔士だって
そうだろう？

動機は
人それぞれ



妖魔なのに
性欲があることに
疑問を持つてる
みたいだね

...!!

フッ

ズル
ズル
ズル
ズル

生まれつき霊力が
高かったから

戦闘が
好きだから

親が退魔士
だったから

カグヤちゃんみたいに
妖魔にお友達を
殺されて

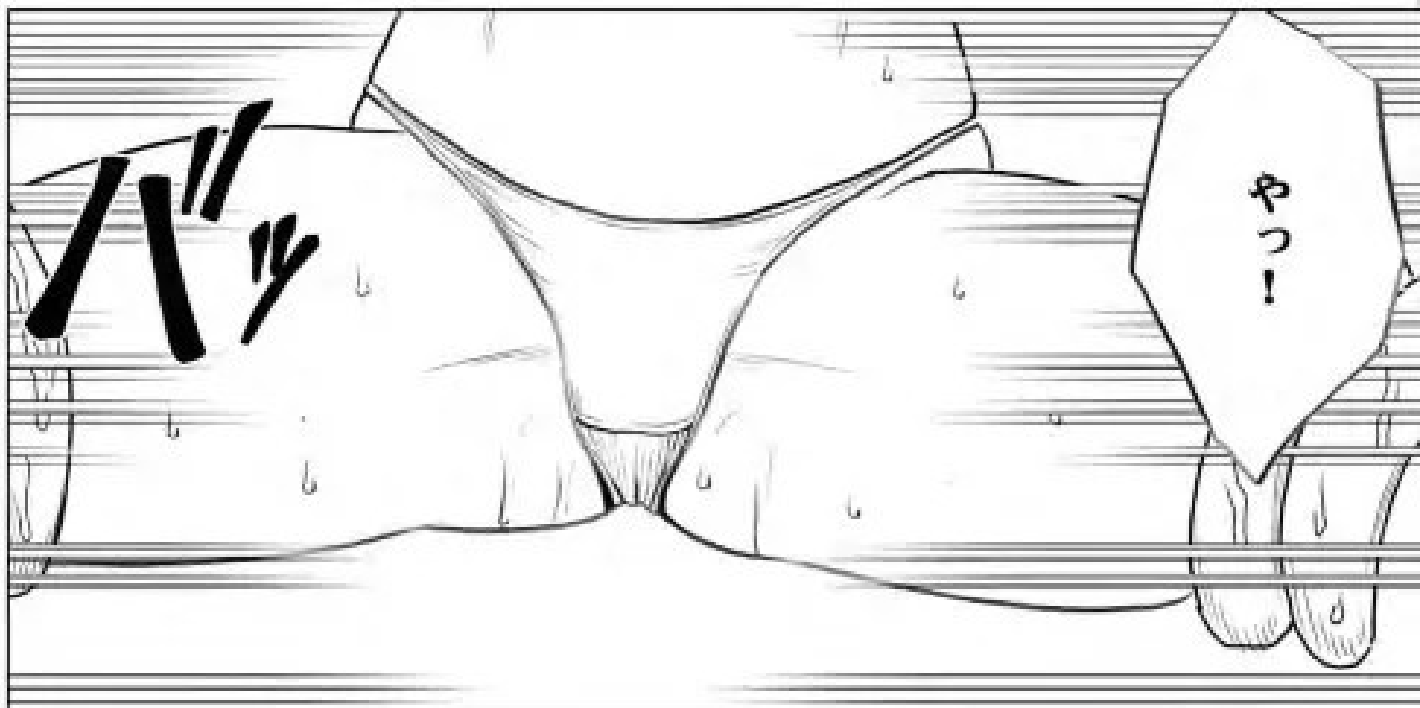
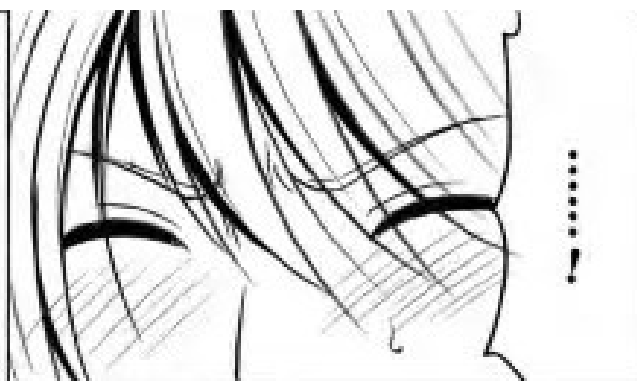
退魔士を目指す
人もいるしね

.....!!













ぐわんぐわん……

ぐわんぐわん……

あッ!!

あッ!!

あッ!!

あッ!!

あッ!!

抵抗できない!

あッ!!

あッ!!

ぐわんぐわん

フィル
フィル

フィル
フィル

また……
カラダを好き勝手に……!











あああ！

スト



しかも美人で
処女……

これ以上の
獲物はいねえ！

スゲーな
霊力の高さが

チ○ホから
伝わってくる！

普通にやったら
オレみたいな
三下の妖魔じゃ

こんな強い
退魔士様を犯すなんて
絶対にムリなのに

今日はツイてるぜー！

ツキすけの
せいー

アハハ♥

ラッキーだったね
キミ

たまたま
近くに居合わせたって
だけで

そんな最高級の
女退魔士の
「初めて」を堪能できて



でも
キミくらい
雑魚のほうが
逆にイイ

そのほうが
天才退魔士チャンが
悔しがらるだろう
からね？



よもや
たまたま
近くにいたザコ妖魔に

処女を捧げることに
なるなんてねえ♥





ぐう！

ん！！

負けない！



いつのだけは
絶対に……！

んんッ！！

んんッ！！



こんな奴に

心まで
屈じたりしない……！

やばい……

良すぎて
もう出そうだ！



挿入されたとしても

……！！

グァァ

イッたりは
しない……！

グァァ



ガッ……んん……

私は
妖魔なんか……

負けない！

んん
んん
!!ん

エェッ

エェッ







To be Continued...